

## 令和6年度 シラバス兼授業計画書

学科名	未来観光ビジネス学科 通信制課程	科目名	ホテルプロデュース I		
授業種類	実技	履修区分	必修	履修時期	通年
単位数	2単位	担当教員	酒井浩一		
授業 内容	《授業概要》				
	<p>ホテルプロデュースでは架空のリゾートホテルをプロデュースする学びを行い、学びの集大成としてプレゼンテーションを行うプロジェクト学習です。                  プレゼンテーション資料はホテルのオペレーションのプロデュースと管理部門を扱い、最終的に結合して、細部の調整を経て完了させます。                  I の学習では生徒が理想とするリゾートホテルをイメージすることが出来るように各科目で学んでいる知識の確認と情報収集から導入していきます。また、プロデュース論とプロデュースの手順についても学習します。そして構築したオペレーションを経営上も安定させていけるような形に仕上げます。</p>				
	《学習の到達目標》				
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 企画からプレゼンテーションまでの一連の流れを習得することが出来る。</li> <li>2 各科目での学習を実践的に生かすことが出来る。</li> <li>3 ホスピタリティ産業と言われる多くの業界への応用が可能になる</li> </ol>				
授業計画					
前期			後期		
4月	プロデュース論		9月	中間プレゼンテーションとレビュー（ホテルコンセプト～組織図設計）	
5月	個性あるホテル研究		10月	プレゼンテーションを受けての指導、修正	
6月	理想のホテルコンセプト・理想のサービス		11月	再プレゼンテーションとレビュー	
7月	理想の館内施設・理想の建物・理想の立地		12月	ホテル実習時での実務経験	
8月	理想のホテル名・部門（部署）と組織図		1月	プロデュース受注へのスキル	
前期試験			後期試験		
教科書 参考書	教科書は特に指定しません。教員が作成するプリントを主たる教材にします。また、関連する数多くの書籍を読むようにして下さい。特に雑誌類を定期購読することをお勧めします。ハード面（建築学）にも関心を持っていただきたいので、関係する雑誌類は読むようにしましょう。				
成績評価	定期試験を全体の40%、プレゼンテーションを全体の40%、実習態度や実習レポートが全体の20%として評価します。				
履修上の 留意点	プロデュースには、多様な知識と、研ぎ澄まされた完成を必要とします。社会、人文、自然科学など多方面に関心を持ち続けることを大切です。				